

演習 I

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

奥田 英信

1. 授業の概要(ねらい)

日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」、証券会社の「投資情報」を、1年間読んでいきます。マーケット情報には、経済・政治のあらゆる情報が集約されています。これをフォローすることで、本学のモットーである「実践的」に経済を勉強して行こうというのが、ゼミナールの趣旨です。

- ① 金融市場の動向を理解する:
少人数のゼミの利点を生かして、日々の金融市場の変化を理解し、説明できるようになる。
- ② 金融リテラシーを高める:
ライフステージに合わせた資産形成・運用の基礎知識をつける。
- ③ プレゼンテーション(レポート作成)になれる。
市場予想についてグループで短い定期報告をする。

2. 授業の到達目標

- ① 言語能力と論理的思考力を高め、それを基に市場の動きについてプレゼンテーションすることができる。
- ② 市場の動きや世界経済の動向について、他者との協働し自分の考えを発表できる。
- ③ 市場の動きや世界経済の動向について、自分で調査し発表できる。
- ④ 毎週の市場の変化について課題を発見し、それを解決する方法を考え提案できる。

3. 成績評価の方法および基準

「無断欠席は3回、報告予定なのに無断欠席は1回で、不合格」というルールにします。
レート予想の課題(50%)、授業中の平常点(30%)、期末感想文(20%)レポート作成と発表について、総合して評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

日本経済新聞(朝・夕刊) 日本経済新聞(朝・夕刊)の「マーケット総合」「投資情報」 日本経済新聞

参考文献

大和証券 『ダイワ投資情報ウィークリー』 大和証券

5. 準備学修の内容

毎週の為替レート予想は必ずすること。毎週、継続して市場をフォローしてことが大事です。
自分が予想する理由をよく考えて、実際に正しかったのかを後で確認する、というのを続けてください。
予想のポイントをどこに置くか、という視点でスキルアップを心がけて行きましょう。

6. その他履修上の注意事項

昨年は円安基調がほぼ1年続き、予想の立てやすい1年でした。今年は、レートの方向性が定まらず、予想の難しい1年になりそうです。日本、米国とも選挙が予定されていて、国際情勢も必ずしも安定的ではないのですが、毎週フォローして行きましょう。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | 演習の進め方を具体的に説明します。以下は、暫定的予定です。テキストについても相談しましょう。 |
| 【第2回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第3回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第4回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第5回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第6回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第7回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第8回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第9回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第10回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第11回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第12回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第13回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第14回】 | 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。 |
| 【第15回】 | 学期中の相場を振り返って期末感想文を作成する。 |